

荒川区の観光情報

荒川区に関する様々なイベントや観光の情報はこちらの二次元コードからご覧になれます。ぜひご覧ください。

ようこそ!あらかわ

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kankoleisure/kankou/index.html>



ArakawaAmazing!

訪日外国人向け観光Webサイト

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/foreign/ja/index.html>



荒川区観光振興課Instagram

@arakawa.tourism.official



荒川区のイベント情報

https://www.city.arakawa.tokyo.jp/cgi-bin/event_cal_multi/calendar.cgi?type=2



荒川区ホームページ

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/index.html>



荒川区X

@arakawakukoho



荒川区YouTube

<https://www.youtube.com/user/cityarakawa>



荒川区シンボルキャラクター
あらみい あら坊



荒川区 産業経済部 観光振興課

所在地：〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3

電話：03-3802-4689

協力：荒川区観光ボランティアガイドの会

令和7年3月発行 登録(06)0106号

荒川区

観光ボランティア ガイドマップ



“まち”を知るひと 荒川区観光ボランティアガイド利用案内

区内の観光スポットや史跡・文化財等を「荒川区観光ボランティアガイド」がご案内します。荒川区でまちあるきされる際には、ぜひご利用ください！

下記内容が変更となる場合があります。最新の情報は、荒川区観光ボランティアガイドの会事務局へお問い合わせください。

- ◆ご利用方法 利用日の3週間前まで
- ◆ご利用人数 5～15名(ご相談に応じます)
- ◆ご利用できる日 通年
ただし、年末年始(12月29日から1月3日まで)、お盆(7月13日から16日まで)及び8月の期間を除く
- ◆ご利用時間 午前9時30分から午後4時までの間の3時間以内(ご相談に応じます)
- ◆ご利用料金等 ガイド料金無料、配付資料なども原則無料
ただし、交通費・拝観料等の案内に伴う経費は、ガイド分も含めてご負担いただきます。
- ◆お申込み・お問合せ 荒川区観光ボランティアガイドの会事務局(荒川区観光振興課内)
TEL 03-3802-4689 FAX 03-3803-2333 ホームページ
メール kankou@city.arakawa.lg.jp (二次元コード)
ホームページ <https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/kankovolunteer.html>



荒川区観光ボランティアガイド養成講座

- ◆対象 区内在住・在勤で養成講座に全日程参加ができ、受講終了後は荒川区観光ボランティアガイドとしての活動が可能の方
- ◆費用 350円(ボランティア保険代)
※ボランティアガイドとして登録し活動される場合、次年度以降は区が負担します。
※ご自宅から会場への交通費は、個人負担です。
- ◆開催時期 毎年10月～12月頃
- ◆募集期間 毎年9月頃(あらかわ区報や、区内各所に配布する募集チラシ等で周知します)
- ◆プログラム 講演、荒川区の歴史・文化財等の講義、まちあるき体験、ガイドトレーニング(実践)等
- ◆定員 15人(申込多数の場合、抽選となります)
※年度によって開催時期、内容等を変更する場合がございます。詳細は、荒川区観光ボランティアガイドの会事務局までご確認ください。

INDEX

荒川区観光ボランティアガイド利用案内	1
アクセスマップ・コースマップ	2
コース1～10	3～22
荒川区の観光情報	裏表紙

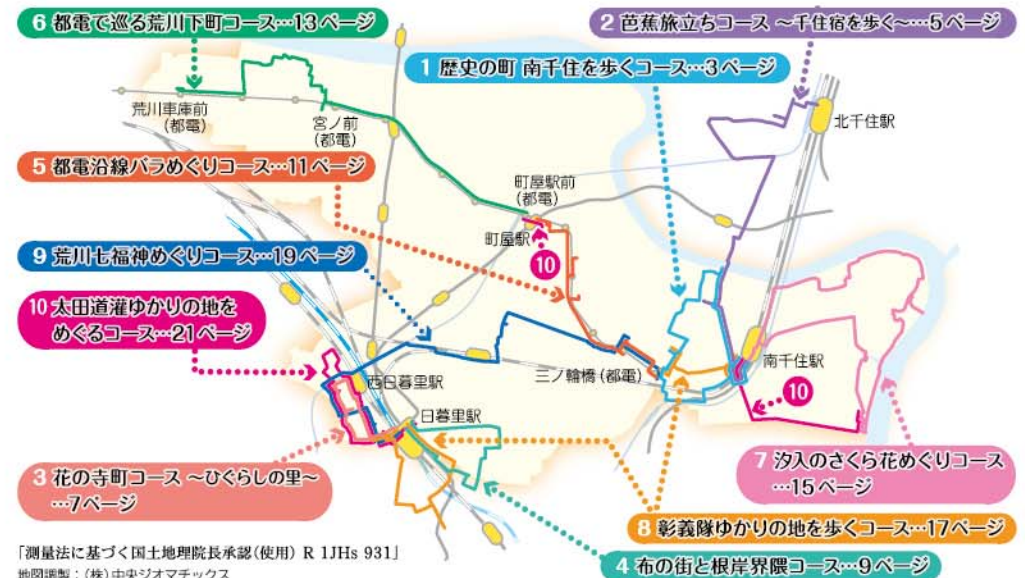
1 歴史の町 南千住を歩くコース	3
2 芭蕉旅立ちコース ～千住宿を歩く～	5
3 花の寺町コース ～ひぐらしの里～	7
4 布の街と根岸界隈コース	9
5 都電沿線バラめぐりコース	11
6 都電で巡る荒川下町コース	13
7 汐入のさくら花めぐりコース	15
8 彰義隊ゆかりの地を歩くコース	17
9 荒川七福神めぐりコース	19
10 太田道灌ゆかりの地をめぐるコース	21

荒川区観光ボランティアガイドマップ アクセスマップ・コースマップ

荒川区アクセスマップ



コースマップ



「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 1JHs 931」
地図調製: (株)中央ジオマチックス

1 歴史の町 南千住を歩くコース

Minami Senju Route: Strolling through the Historical Town

歩行距離……………約3.5km
移動時間……………約44分
消費カロリー……………約145kcal
※コース内での説明時間は除く



- ⑤ 南千住駅 → ① 延命寺・小塚原刑場跡 → ② 回向院 → ③ 素盞雄神社
④ 千住大橋 → ⑤ 荒川ふるさと文化館 → ⑥ 旧千住製絨所煉瓦塀
⑦ 円通寺 → ⑧ 都電三ノ輪橋停留場 → ⑨ 浄閑寺 → ⑥ 南千住駅



① 延命寺・小塚原刑場跡
【南千住2-34-5】

品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場で、明治時代初めに廃止されるまで磔(はりつけ)・斬首などが執行されていました。「首切り地蔵」が、ここに眠る人々の霊を静かに見守っています。



② 回向院
【南千住5-33-13】

吉田松陰ら幕末の志士や、鼠小僧次郎吉・高橋お伝らの墓があります。杉田玄白らがここの死刑者の解剖見学を契機に「解体新書」を翻訳したことから、観蔵記念碑が建てられました。



③ 素盞雄神社
【南千住6-60-1】

区内で最も広い地域の鎮守で、六月の天王祭では担ぎ棒二本のみで神輿を左右に激しく振る二天の神輿振りが圧巻です。また、松尾芭蕉「奥の細道」矢立初めの句碑(荒川区指定有形文化財)があります。



④ 千住大橋
【南千住6-71 付近】

徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。この辺りは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。歌川広重の名所江戸百景「千住の大し」にも描かれています。



⑤ 荒川ふるさと文化館
【南千住6-63-1】

荒川区の歴史・文化を楽しみながら探求できる施設。長屋などの復元家屋や、奥の細道関連の資料も展示しています。あらかじめ伝統工芸ギャラリーでは、伝統工芸の実演やワークショップも行なっています。[観覧料] 100円



⑥ 旧千住製絨所煉瓦塀
【南千住6-43 付近】

富国強兵・殖産興業政策により軍用の毛織物を製造していた日本初の官営毛織物工場・千住製絨所の煉瓦塀の一部。かつては北は隅田川、南は荒川総合スポーツセンターまで高い煉瓦塀で囲われていました。



⑦ 円通寺
【南千住1-59-11】

慶応4年(1868)の上野戦争の後、戦死した彰義隊士を供養し、円通寺境内に埋葬したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移されました。そこに残る弾痕は、戦争の激しさを現在に伝えています。



⑧ 都電三ノ輪橋停留場
【南千住1-12】

関東の駅100選の一つで、平成19年(2007)に昭和30年代頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。隣接する三ノ輪橋おもいで館では、都営交通に関する案内、1日乗車券やグッズ等の販売を行っています。



⑨ 浄閑寺
【南千住2-1-12】

安政2年(1855)の大地震で被災した新吉原の遊女達の遺体が投げ込まれたと伝えられ、「投込寺」とも呼ばれています。当時の出来事を伝える「新吉原総霊塔」のほか、永井荷風の詩碑があります。

2 芭蕉旅立ちコース ~千住宿を歩く~

Bashō's Departure Route: Strolling through the Senju-shuku

歩行距離 約3.3km
移動時間 約41分
消費カロリー 約135kcal
※コース内での説明時間は除く



- 5 南千住駅 → 1 松尾芭蕉像 → 2 延命寺・小塚原刑場跡 → 3 素盞雄神社・矢立初めの句碑
→ 4 金子兜太句碑 → 5 荒川ふるさと文化館 → 6 千住大橋
→ 7 千住神社 → 8 勝専寺 → 9 千住宿本陣跡・見番横丁 → G 北千住駅



1 松尾芭蕉像
【南千住4-5(南千住駅西口ロータリー)】
元禄2年(1689)3月27日(新暦5月16日)、松尾芭蕉は千住の地から奥の細道の旅へと旅立ちました。荒川区では、奥の細道千住あらかわサミット開催を記念し、平成27年3月にブロンズ像(平野千里氏製作)を建立しました。



2 延命寺・小塚原刑場跡
【南千住2-34-5】
品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場で、明治時代初めに廃止されるまで磔(はりつけ)・斬首などが執行されていました。「首切り地蔵」が、ここに眠る人々の霊を静かに見守っています。



3 素盞雄神社・矢立初めの句碑
【南千住6-60-1】
平安時代の御創建、御鎮座1200有余年の古社。松尾芭蕉「奥の細道」旅立ちの句を刻む矢立初めの句碑(荒川区指定有形文化財)は、江戸時代文政3年(1820)に千住宿に集う文人たちによって建てられました。



4 金子兜太句碑
【南千住6-63-1(荒川ふるさと文化館正面口)】
「荒川千住芭蕉主従に花の春」この句は、俳人金子兜太氏から俳句のまちである荒川区にお寄せいただいた作品です。平成29年3月に奥の細道矢立初めの地である南千住にこの句碑を建立しました。



5 荒川ふるさと文化館
【南千住6-63-1】
荒川区の歴史・文化を楽しみながら探求できる施設。長屋などの復元家屋や、奥の細道関連の資料も展示しています。あらかわ伝統工芸ギャラリーでは、伝統工芸の実演やワークショップも行なっています。【観覧料】100円



6 千住大橋
【南千住6-71付近】
徳川家康が江戸に入って初めて架けた橋です。この辺りは江戸の北の玄関口であり、松尾芭蕉もここから奥州へと旅立ちました。歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」にも描かれています。



7 千住神社
【足立区千住宮元町24-1】
足立郷社。氷川神社と稻荷神社が明治6年(1873)に合祀し、その後、大正4年(1915)に千住神社と改称しました。千寿七福神の恵比寿天として知られ、境内にある富士塚は足立区の登録有形民俗文化財です。



8 勝専寺
【足立区千住2-11】
「赤門寺」の名で親しまれ、徳川将軍家との縁が深い寺院です。非公開の木造千手観音立像は「千住」の地名の由来になったといわれ、1月と7月の15日・16日には「えんま王坐像」が開帳されます。

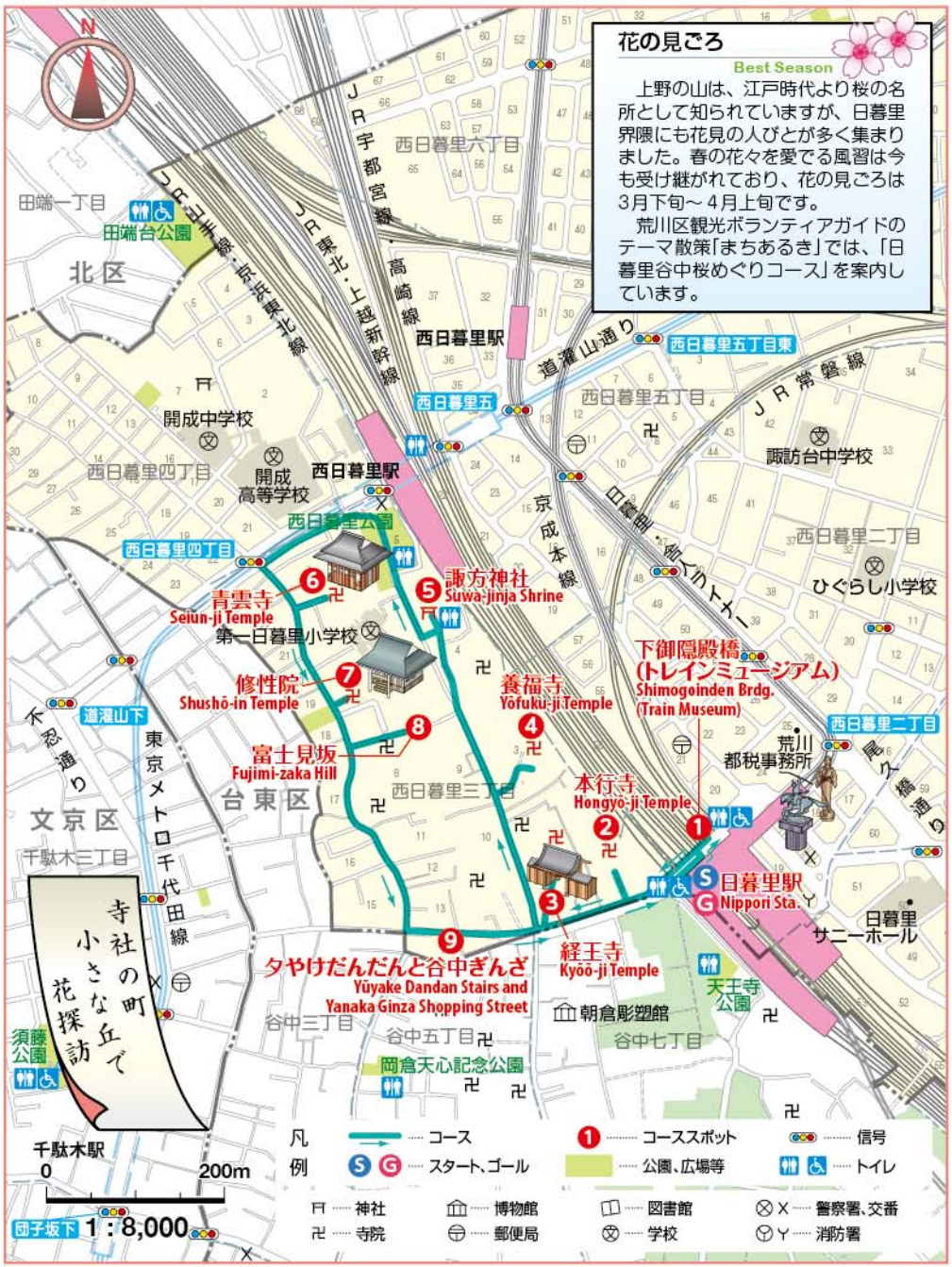


9 千住宿本陣跡・見番横丁
【足立区千住3-33】
本陣は、大名当主や側近が参勤交代時に宿泊や儀礼を行った宿場の中心です。南側の路地には貸座敷の芸者の手配等を行なう見番跡があり、由来を記した地元商店会による案内板が往時をしのばせます。

3 花の寺町コース ~ひぐらしの里~

Blooming Teramachi Route: Home of Evening Cicadas

歩行距離.....約1.7km
移動時間.....約21分
消費カロリー.....約69kcal
※コース内での説明時間は除く



花の見ごろ
Best Season
上野の山は、江戸時代より桜の名所として知られていますが、日暮里界隈にも花見の人びとが多く集まりました。春の花々を愛でる風習は今も受け継がれており、花の見ごろは3月下旬～4月上旬です。
荒川区観光ボランティアガイドのテーマ散策「まちあるき」では、「日暮里谷中桜めぐりコース」を案内しています。

- 5 日暮里駅 → 1 下御隠殿橋(トレインミュージアム) → 2 本行寺 → 3 経王寺
4 養福寺 → 5 諏方神社 → 6 青雲寺 → 7 修性院
8 富士見坂 → 9 タヤけだんだんと谷中ぎんざ → G 日暮里駅



1 下御隠殿橋(トレインミュージアム)
【西日暮里2-58】

この橋の途中には、トレインミュージアムと呼ばれるバルコニーがあります。新幹線や特急列車など、14本の線路を行き交う列車を見ることができます。



4 養福寺
【西日暮里3-3-8】

宝永年間(1704～1711)の建立とされる仁王門の裏側には、平安時代後期に作られた持国天と多聞天の天王像があります。江戸時代初期に活躍した談林派歴代の句碑などがあります。



7 修性院
【西日暮里3-7-12】

妙隆寺(修性院に合併)・青雲寺とともに「花見寺」とも呼ばれている日蓮宗のお寺です。浮世絵師・歌川広重の「名所江戸百景」日暮里寺院の林泉では、修性院境内の春景色が描かれています。



2 本行寺
【西日暮里3-1-3】

月見寺の通称で知られています。風流人に好まれ、小林一茶や種田山頭火などの句碑があり、また、儒学者・市河寛斎、書道家・市河米庵、幕末～明治時代に活躍した永井尚志の墓があります。



5 諏方神社
【西日暮里3-4-8】

建御名方命(たけみなかたのみこと)を祀る神社で、長野県にある諏訪大社の分社です。元久2年(1205)に創建され、日暮里(旧：新堀)・谷中の総鎮守として広く信仰を集めています。



8 富士見坂
【西日暮里3-7 付近】

都心に幾つかある富士見坂のうち、地上から富士山が実際に見える坂で、「関東の富士見100景」にも選ばれました。



3 経王寺
【西日暮里3-2-6】

慶応4年(1868)の上野戦争に敗れた彰義隊士がここへ隠れたため、新政府軍の攻撃を受けました。山門には、その弾痕が残っています。



6 青雲寺
【西日暮里3-6-4】

江戸時代、花見の場所として賑わったことから「花見寺」とも呼ばれています。本堂脇に「南総里見八犬伝」の著者・滝沢馬琴の筆塚の碑と碩塚の碑があります。



9 タヤけだんだんと谷中ぎんざ
【西日暮里3丁目～台東区谷中3丁目付近】

「タヤけだんだん」は美しい夕焼けを眺められる階段で、一般公募により命名されました。レトロな雰囲気漂う谷中ぎんざ(谷中銀座商店街)の店先の屋根の上には、猫のオブジェ(木製彫刻)があります。

4 布の街と根岸界隈コース

Fabric Town and Negishi Route

歩行距離.....約2.3km
移動時間.....約29分
消費カロリー.....約96kcal
※コース内での説明時間は除く

- ⑤ 日暮里駅 → ① 太田道灌像「回天一枝」 → ② 善性寺 → ③ ねぎし三平堂
→ ④ 書道博物館 → ⑤ 子規庵 → ⑥ 日暮里南公園 → ⑦ 夕焼け小焼けの記念碑
→ ⑧ ふらっとにっぽり(日暮里地域活性化施設) → ⑨ 日暮里織維街 → ⑥ 日暮里駅



① 太田道灌像「回天一枝」
【西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)】
江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



② 善性寺
【東日暮里5-41-14】
徳川將軍家ゆかりの寺であり、門前の音無川に架けられた橋は「將軍橋」と呼ばれていました。名横綱の双葉山や総理大臣・石橋湛山の墓、安土桃山時代の作と伝わる「不二大黒天像」があります。



③ ねぎし三平堂
【台東区根岸2-10-12】
「昭和の爆笑王」と呼ばれた落語家・林家三平の思い出の品々が展示されています。
[開堂日] 水・日
[開堂時間] 11:00~16:00
[入堂料] 1,000円



④ 書道博物館
【台東区根岸2-10-4】
洋画家・書家であった中村不折が蒐集した甲骨文、青銅器、石碑、拓本、経巻文書、書跡などの貴重な資料を収蔵・展示しています。
[開館時間] 9:30~16:30 [休館日] 月曜、年末年始ほか [入館料] 500円



⑤ 子規庵
【台東区根岸2-5-11】
晩年の正岡子規が母、妹と暮らしていました。病間兼書斎と句会歌会の場として、多くの友人、門弟が集いました。
[開館時間] 10:30~16:00(12:00~13:00休休)
[休館日] 月・夏季・冬季ほか [入館料] 500円



⑥ 日暮里南公園
【東日暮里5-19-1】
建設省(現・国土交通省)大臣表彰「手づくり郷土(ふるさと)賞」の「小さなふれあい広場30選」に選ばれた大きな噴水広場があり、園内は、常緑樹や四季折々の草花で溢れています。



⑦ 夕焼け小焼けの記念碑
【東日暮里5-2-1(第二日暮里小学校)】
古くから歌い続けられている童謡「夕焼け小焼け」は、作詞者・中村雨紅が、ここ第二日暮里小学校に新米教師として赴任し、翌年第三日暮里小学校へ転動した後の大正8年(1919)につくられました。



⑧ ふらっとにっぽり(日暮里地域活性化施設)
【東日暮里6-17-6】
「日暮里織維街を訪れた方がふらっと立ち寄れる場所」、「日暮里織維街の魅力で地域を活性化するための」がコンセプトの複合施設です。定期的なイベントのほか、ソーイングブックコーナーやおもてなしスペース(休憩所)がご利用いただけます。



⑨ 日暮里織維街
【東日暮里3丁目~6丁目付近】
日暮里中央通りの両側約1kmを中心に、生地織物の店が立ち並んでいます。日暮里織維街の名を全国にアピールするため、ファッションデザインコンテストが開催されています。

5 都電沿線バラめぐりコース

Rose Route: Along the Toden (Tram)

歩行距離 約2.3km
移動時間 約29分
消費カロリー 約96kcal
※コース内での説明時間は除く



都電沿線のバラ
Rose along Toden Arakawa Line

都電荒川線は、三ノ輪橋(荒川区)～早稲田(新宿区)の12.2km、30の停留場を約50分で結ぶ路面電車です。荒川区内の沿線では、5月上旬～6月上旬頃と10月中旬に約140種類、13,200本のバラが咲き、このバラは、平成28年度に「緑化推進運動労務者内閣総理大臣表彰(内閣府主催)」を受けました。

- ⑤ 都電三ノ輪橋停留場 → ② 石川屋敷跡 → ③ 中島弁財天
→ ④ 大関屋敷跡 → ⑤ 旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設
→ ⑥ 荒川自然公園 → ⑦ ゆいの森あらかわ → ⑧ 泊船軒 → ⑨ 町屋駅



① 都電三ノ輪橋停留場
【南千住1-12】

関東の駅100選の一つで、平成19年(2007)に昭和30年代頃をイメージしたレトロ調のデザインに改修されました。隣接する三ノ輪橋おもいで館では、都営交通に関する案内、1日乗車券やグッズ等の販売を行っています。



④ 大関屋敷跡
【南千住1-4】

下野黒羽藩主大関氏は、寛文元年(1661)、幕府からこの地に下屋敷を拝領しました。その範囲は南千住1-1～8、10・11の一部の辺りと推定されます。面積は抱屋敷を含めて8,100坪(約26,700㎡)でした。



⑦ ゆいの森あらかわ
【荒川2-50-1】

約60万冊の蔵書規模を誇る中央図書館、荒川区出身の小説家・吉村昭氏の記念文学館、体験キットやワークショップなどが楽しめる学びラウンジや乳幼児親子の交流の場である遊びラウンジが一体となった複合施設です。



② 石川屋敷跡
【南千住1-26】

伊勢亀山藩(現在の三重県亀山市)の藩主・石川家の屋敷は、ジョイフル三の輪一帯の約1万坪に及び、鉄砲櫓古場や広大な庭園、田畑などがありました。屋敷の一部は現在、瑞光公園になっています。



⑤ 旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設
【荒川8-25-1】

大正11年(1922)に稼働を開始した日本初の近代下水処理場の代表的遺構として、下水道分野では初めて国の重要文化財に指定されました。事前予約により見学可能です。[問合せ] 03-6458-3940



⑧ 泊船軒
【荒川7-17-2】

臨済宗のお寺です。築80年の本堂には、小室翠雲の「雲龍図」、格天井には日本画家による「花鳥風月画」が納められています。境内には、太田道灌の故事による「山吹の塚」があります。



③ 中島弁財天
【南千住1-23-11】

元々は正徳時代に創業した銭湯「元弁天湯」の女湯脱衣場の中庭にありましたが、銭湯が東日本大震災で被災して閉業したため、ジョイフル三の輪(三の輪銀座商店街)近くの当地に移されました。



⑥ 荒川自然公園
【荒川8-25-3】

東京都の「新東京百景」に選ばれた公園には、白鳥が泳ぐ池や円形のバラ花壇、楽しく交通ルールが学べる交通園などがあります。[休園日] 第1・第3木曜日(祝日の場合はその翌日)



6 都電で巡る荒川下町コース

Arakawa Shitamachi (Old Town) Route: On the Toden (Tram)

歩行距離 約2.0km
移動時間 約25分
消費カロリー 約83kcal
※コース内での説明時間は除く

- 5 都電荒川線荒川車庫 → 1 都電荒川線荒川車庫 → 2 延命子育地蔵
- 3 あらかわ遊園 → 4 煉瓦塀 → 5 寶蔵院 → 6 地蔵寺
- 7 大林院 → 8 碩運寺 → 9 尾久八幡神社 → G 都電町屋駅前停留場



1 都電荒川線荒川車庫
【西尾久8-33】

都電の車庫では、6月10日の「路面電車の日」や10月1日の「荒川線の日」の頃に、記念イベントが開催されます。また、「都電おもいで広場」には2両の旧型車両が展示されています。



2 延命子育地蔵
【西尾久6-32】

延命・子育てにご利益があるといわれ、寛文9年(1669)・宝永2年(1705)銘の日侍供養碑2基のほか、寛永20年(1643)銘の地蔵菩薩や庚申塔など、江戸時代に建てられた石造物があります。



3 あらかわ遊園
【西尾久6-35-11】

園内にはアトラクションを一新した「のりもの広場」や、雨の日でも室内アスレチックが楽しめる「わくわくパーク」、ヤギやヒツジなどとふれあえる「どうぶつ広場」など、楽しいスポットがいっぱい。各アトラクションや施設には、スロープなどが設置され、赤ちゃん連れの方や車いすの方も安全に遊ぶことができます。



4 煉瓦塀
【西尾久6-36】

明治時代初期、この地域では煉瓦に適した土がとれたことから、4つの煉瓦工場がありました。その後、工場の跡地はあらかわ遊園になり、工場にあった煉瓦で遊園を囲う塀が造られました。



5 寶蔵院
【西尾久3-16-19】

真言宗(和歌山県)の根來寺を本山とする新義真言宗のお寺です。ご本尊は虚空蔵菩薩で、丑・寅年生まれの方の守り本尊です。徳川將軍の馬を繋いだ「駒つなぎのイチヨウ」もあります。



6 地蔵寺
【西尾久3-10-6】

本尊の地蔵菩薩は聖徳太子作と伝えられ、子育て地蔵尊として親しまれています。八角堂には千体地蔵尊が安置され、文明15年(1483)銘の阿弥陀三尊来迎図が描かれた夜念仏供養板碑があります。



8 碩運寺
【西尾久2-25-21】

大正3年(1914)、住職が井戸の検査を依頼すると、ラジウムを含む鉱泉であることが判明し、寺内に温泉を開業しました。これが尾久三業(料理屋・待合・温泉)の発展の幕開けとなりました。



9 尾久八幡神社
【西尾久3-7-3】

創建は、鎌倉時代末期の正和元年(1312)に、尾久の地が鎌倉の鶴岡八幡宮の領地となった頃と考えられています。尾久の総鎮守であり、農業、工業、商業の神様として親しまれています。



7 大林院
【西尾久3-9-5】

八幡神社別当の願勝寺が、明治8年(1875)の神仏分離で廃寺となり、明治22年(1889)に曹洞宗の尼僧寺大林院が建立されました。正和5年(1316)銘の阿弥陀三尊の板碑などがあります。

7 汐入のさくら花めぐりコース

Shiomi Cherry Blossoms and Other Flowers Route

歩行距離 約5.5km
移動時間 約69分
消費カロリー 約228kcal
※コース内での説明時間は除く



- ⑤ 南千住駅 → ① 胡録神社 → ② 千住汐入大橋 → ③ 都立汐入公園
④ 水神大橋 → ⑤ 白鬚橋 → ⑥ 石浜神社 → ⑦ 瑞光橋公園
⑥ 南千住駅



① 胡録神社

【南千住8-5-6】

かつては大六天と呼ばれた神社です。汐入周辺は、江戸時代から明治時代にかけて、胡粉(人形の上塗りの塗料)が盛んに作られており、境内には、古き石臼が奉納されています。



② 千住汐入大橋

【南千住8-15付近】

汐入地区と足立区の千住曙町を結ぶ橋は、平成18年2月に隅田川に架けられました。橋名は、昭和41年(1966)に廃止された隅田川最後の渡し舟「汐入の渡し」にちなんで名づけられました。



③ 都立汐入公園

【南千住8-13～8-16】

隅田川に沿った形で造られた公園です。南側には運動施設やバーベキュー広場、北側には芝生広場、野外ステージ、展望広場などがありスカイツリーを眺めることもできます。



④ 水神大橋

【南千住8-16付近】

昭和63年(1988)に架けられた橋で、橋の名前は対岸の墨田区にあり、水神を祀っている隅田川神社に由来しています。また、かつてこの付近には水神の渡しがありました。



⑤ 白鬚橋

【南千住3-38付近】

現在の白鬚橋は、昭和6年(1931)に完成しました。以前は「橋場の渡し」「白鬚の渡し」と称される渡船場があり、源頼朝の時代には、舟を並べた浮き橋があったとも言われています。



⑥ 石浜神社

【南千住3-28-58】

神亀元年(724)に聖武天皇の命によって創建されました。境内には、江戸時代の儒学者・亀田鶴斎の詩碑や「伊勢物語」の歌碑があります。浅草名所(など)七福神の寿老人でもあります。



⑦ 瑞光橋公園

【南千住8-18-1】

隅田川の入り江とスーパー堤防を利用して造られました。かつてあった運河の水門の一部はモニュメントとして残され、入り江の近くまで行けるテラスでは、水辺の生き物などの観察ができます。



8 彰義隊ゆかりの地を歩くコース

Shōgitai Route: Following the Corps' Footsteps

歩行距離 約3.7km
移動時間 約46分
消費カロリー 約158kcal
※コース内での説明時間は除く



- 5 日暮里駅 → 1 経王寺 → 2 寛永寺 → 3 渋沢栄一墓所
- 4 善性寺 → 5 太田道灌像「回天一枝」 → 6 松尾芭蕉像
- 7 回向院 → 8 円通寺 → G 都電三ノ輪橋停留場



1 経王寺
【西日暮里3-2-6】
明暦元年(1655)創建の日蓮宗のお寺で、山門は天保7年(1836)に建立されたものです。境内の大黒堂には、日蓮聖人作という大黒天が祀られています。



2 寛永寺
【台東区上野桜木1-14-11】
かつての寛永寺は、上野公園のほとんどが寺域で、彰義隊の一部は寛永寺に立てこもりました。上野戦争により寛永寺の伽藍は大半が灰となり、新政府軍の猛攻を受けた彰義隊は壊滅しました。



3 渋沢栄一墓所
【台東区谷中7丁目(都立谷中公園乙11号)】
徳川幕府、明治政府に仕えた後の実業家・渋沢栄一の従兄・成一郎は、彰義隊結成時の頭取でした。栄一は当時フランスにおり、成一郎との書簡を通して、政治情勢や彰義隊の情報を得ていました。



4 善性寺
【東日暮里5-41-14】
寛文4年(1664)に6代将軍・徳川家宣の生母・長昌院がここに葬られて以来、将軍家ゆかりの寺となりました。慶応4年(1868)の上野戦争時には、彰義隊の屯所となりました。



5 太田道灌像「回天一枝」
【西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)】
江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



6 松尾芭蕉像
【南千住4-5(南千住駅西口ロータリー)】
元禄2年(1689)3月27日(新暦5月16日)、松尾芭蕉は千住の地から奥の細道の旅へと旅立ちました。区では、奥の細道千住あらかわサミット開催を記念し、平成27年3月にブロンズ像(平野千里氏製作)を建立しました。



7 回向院
【南千住5-33-13】
吉田松陰ら幕末の志士や、鼠小僧次郎吉・高橋お伝らの墓があります。杉田玄白らがここでの刑死者の解剖見学を契機に「解体新書」を翻訳したことから、観蔵記念碑が建てられました。



8 円通寺
【南千住1-59-11】
慶応4年(1868)の上野戦争の後、戦死した彰義隊士を供養し、円通寺境内に埋葬したのが円通寺の住職という縁で、上野寛永寺の黒門が移されました。そこに残る弾痕は、戦争の激しさを現在に伝えています。



9 荒川七福神めぐりコース

Arakawa Seven Lucky Gods Route

歩行距離.....約4.3km
移動時間.....約54分
消費カロリー.....約178kcal
※コース内での説明時間は除く



10 太田道灌ゆかりの地をめぐるコース

Following the Ōta Dōkan's Footsteps

歩行距離.....約2.6km
移動時間.....約33分
消費カロリー.....約109kcal
※コース内での説明時間は除く



- S 日暮里駅 → ① 太田道灌像「回天一枝」 → ② 「山吹の花一枝」像
→ ③ 本行寺・道灌物見塚 → ④ 諏方神社 → ⑤ 道灌山
→ ⑥ 青雲寺 → G 日暮里駅



① 太田道灌像「回天一枝」
【西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)】
江戸城を築城したことなどで知られる室町時代の武将・太田道灌のブロンズ像です。疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、僧侶にして彫刻家であった橋本活道氏の手によるものです。



② 「山吹の花一枝」像
【西日暮里2-19(日暮里駅東口ロータリー)】
日暮里の地ゆかりの武将・太田道灌の山吹の里伝説にちなんで制作され、道灌が鷹狩の途中でわか雨にあい裳を借りようと立ち寄った農家で、出てきた娘が裳がないことを山吹の一枝を差し出して伝えたと言われています。



③ 本行寺・道灌物見塚
【西日暮里3-1-3】
太田道灌が江戸城を築いた際、斥候台(物見塚)を置いたと伝えられており、道灌丘碑がその歴史を伝えています。この地をしばしば訪れた小林一茶が詠んだ「陽炎や 道灌どの物見塚」の句碑も建てられています。



④ 諏方神社
【西日暮里3-4-8】
日暮里(新堀)・谷中の総鎮守諏方神社に伝わる縁起には、道灌が登場します。太田道灌が日暮里に出城を築いた際に、鎮守となり、五石の領地を賜ったと記されています。



⑤ 道灌山
【西日暮里4丁目付近】
太田道灌は、道灌山(西日暮里4丁目)の上に砦を築いたと言われています。西日暮里駅北西部の高台の地域一帯が道灌山と呼ばれています。



⑥ 青雲寺
【西日暮里3-6-4】
江戸時代、花見の場所として賑わったことから「花見寺」とも呼ばれています。当時青雲寺の境内だった西日暮里公園には、船繋松と呼ばれる大きな松があり、太田道灌の砦に荷を運んでいた舟人が目印としました。



足を延ばして
太田道灌ゆかりの地
町屋
町屋駅 ↔ ⑦ 泊船軒
歩行距離.....約0.4km
移動時間.....約5分
消費カロリー.....約17kcal



南千住
南千住駅 ↔ ⑧ 石浜神社
歩行距離.....約3.0km
移動時間.....約38分
消費カロリー.....約125kcal

⑦ 泊船軒
【荒川7-17-2】
築80年の本堂には、小室翠雲の「雲龍図」、格天井には日本画家による「花鳥風月画」が納められています。境内には、太田道灌の故事による「山吹の塚」があります。

⑧ 石浜神社
【南千住3-28-58】
神亀元年(724)に聖武天皇の命によって創建されました。神社周辺には、太田道灌が庇護した武蔵千葉氏が築城とした石浜城があったと伝えられています。